

市立ひらかた子ども発達支援センター 支援プログラム

作成日 2025年 3月 27日

法人（事業所）理念	子どもたちの生きる力を育み、健やかな成長を支えるとともに、すべての子どもとその家族の幸福を支える役割を担う施設を目指す。		
支援方針	子どもたち一人ひとりの発達状況や障害特性にあわせた専門的な療育を提供することにより、子どもの健やかな成長発達を促し、その可能性を広げ、家庭・地域での育ちや暮らしを支える。児童発達支援（通所支援）においては、専門性を有する職員が、家庭との緊密な連携のもとに、子どもの状況や発達課題を踏まえ、保育・リハビリテーション（セラピー）・相談を一体的に行う。		
営業時間	午前8時45分～午後5時15分 土曜、日曜、祝日、年末年始を除く	送迎実施の有無	有 すぎの木：通園バス又はワゴン なのはな：タクシー等 ※利用要件あり

プログラム		取組みの方向	領域	支援内容
障害や発達に対する支援	なのはな (肢体不自由児・重症心身障害児)	○子どもの障害の状態や発達段階を十分に把握した上で、その子どもに合わせた自立活動を支援し、関わる人ややりたい意欲からコミュニケーションの力を育てる。  ○乳児期に親子通所による保育で経験した遊びを、保護者以外の大人とも楽しみ、担任やさまざまな大人と安心できる関係を広げていく。  ○年齢に合わせた生活経験を考慮しながら、子どもたちが「(自分で)できた」と達成感を得られるようにする。	健康・生活	・睡眠・食事・排泄など子どもが基本的な生活リズムを身につけられるよう支援する。また、口腔機能や姿勢などを考慮しながら楽しく食事ができるようサポートする。
			運動・感覚	・子どもが自分の力で移動したり、歩行器や車いすなどを使いながら日常生活に必要な移動能力を高めるための支援を行う。 ・子どもが持っている視覚・聴覚・触覚などの感覚を十分に使えるように、遊びなどを通して支援する。
			認知・行動	・視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に使い、必要な情報を集めることで子どもの認知機能の発達を促す支援を行う。 ・子どもが周囲の環境から情報を受け取り、必要な情報を選び出し、子どもが自ら行動することを支援する。
			言語・コミュニケーション	・自分が伝えやすい手段で思いを伝えることを繰り返し、思いが伝わった経験を積んでいく。 ・子どもが周囲の状況を理解したり、自分の意志を伝えたりできるように指差しや身振りサインなどの非言語的なコミュニケーション手段を使えるように支援する。
			人間関係・社会性	・ふれあい遊びを通して、子どもが身近な人と信頼関係を築くことをサポートする。 ・楽しいと感じられる遊びを通じて、大人と友達と一緒に色々な遊びをする機会を増やす。
	すぎの木 (知的障害児、発達障害児)	○知的発達の遅れや発達のアンバランスさ、対人関係やコミュニケーションの困難さ、さらに感覚的な過敏さや環境の変化に敏感な子どもに大人が丁寧に寄り添い、それぞれの発達課題にあわせた遊びや経験を通して、子どもの成長発達を促す。  ○大人への安心感や信頼関係を土台に、子どもが安心して見通しをもった生活ができるように支援する。	健康・生活	・子どもが身の回りのことを自分でしたり、食事・着替え・トイレなどの日常生活に必要な基本的なスキルを身につけるための支援を行う。
			運動・感覚	・好きな遊びを通して、身体をコントロールする力を高める。また、身体を使って遊ぶ時間を増やし、体力をつけていく。 ・子どもが持つ感覚の過敏さや鈍感さを理解しそれに合わせて環境を調整したり、適切な支援を提供する。
			認知・行動	・子どもが周りの世界を理解し行動するための基礎や概念、物の機能や形、色の変化、時間や空間などを理解し、それらを活用できるよう支援する。
			言語・コミュニケーション	・子どもが周りの状況を理解したり、自分の気持ちを伝えたりすることをスムーズに行なえるよう、仕草や言葉、絵カードなど様々なコミュニケーション手段を選び使えるように支援する。 ・自分の思いが相手に伝わるよう、繰り返し場面に合った仕草や言葉を知らせる。
			人間関係・社会性	・子どもが集団活動に参加するためのルールや手順を理解し、遊びや活動に積極的に参加できるようにサポートする。 ・子どもが相手の思いに触れたり、気づいたりして、他者を受け入れる経験が積めるようにする。

プログラム		取組みの方向	領域	支援内容
専門的支援	理学療法	障害児や発達上支援の必要のある子どもの運動発達に合わせて、基本の動作（姿勢保持、姿勢変換、移動など）を中心に運動の力を育み、多様な場面で遊びを楽しめる身体づくり・構えづくりを目指す。	健康・生活 運動・感覚 認知・行動 言語・コミュニケーション	全身状態安定の獲得、姿勢保持能力の獲得、歩行等移動手手段の獲得、応用動作の獲得、呼吸状態の調整
	作業療法	障害児や発達上支援の必要のある子どもの発達状況に応じ、様々な活動を提供し、子どもが自身の周りにいる人や物に対して主体的にかかわる力（適応能力）の獲得や向上を目指す。	人間関係・社会性	呼吸状態の調整、感覚の発達援助、両手操作、ADL指導、生活補助具の作成・提案、姿勢保持の安定、認知機能の発達援助、道具操作
	言語聴覚療法	障害児や発達上支援の必要のある子どもがさまざまな生活経験を通して自己の力を発揮し有能感を育めるように、子どもや保護者・家族のニーズをもとに、主に食事やコミュニケーションの視点から発達を支援する。	※医師の指示のもと、実施の有無、支援する領域・支援内容を決定	発声・発語器官および構音動作の機能向上、伝達手段の獲得、理解・表出言語獲得への援助、認知機能の向上、コミュニケーション能力の向上、食事指導
家族支援		子どもの様子を日々の療育の中や、定期的に行う個人懇談や発達相談の機会などを通じて家族と共有する。また、専門講師による講演や、具体的な悩み等を専門医に直接相談できる療育相談等を実施する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>○専門講師による講演 子どもの発達や障害、子育てに悩みを抱える保護者を対象に、専門の講師等を招へいし、専門的な見地、実例をもとに講演をいただき、保護者の気付きや心のケア、今後の見通しにつなげていく。</li> <li>○療育相談 子どもの発達特性や気になる行動への対応の仕方、子どもを取り巻く環境、保護者自身の悩みなど気になることについて、障害児・保護者支援に経験が豊富な小児科医師に相談し、助言を受けることができる。（事前予約）</li> </ul>
移行支援		就学や就園など進路に向けて、本人や保護者が安心して移行できるように情報を提供する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>○就学支援 子どもの発達の状況等から、就学に悩みをかかえる保護者を対象に、市の支援学級、府の支援学校の取り組みを紹介する。</li> <li>○枚方市架け橋プログラム 渚西中学校区、磯島小学校区内の就学前施設と小学校をつなげ、5歳児から小学校1年生に向けて、切れ目ない支援を行う。</li> <li>○移行先との連携 移行先と本人の支援内容、支援方法等の共有。また、受入れ体制などの環境調整を行う。</li> </ul>

プログラム	取組みの方向	取組内容
地域支援・地域連携	センターが地域の障害児支援、発達支援の中核的な支援機関としての役割を果たすため、障害児福祉サービスを提供している事業者等との連携を進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域連携講座 子どもとその家族に対する支援の充実と地域全体の支援体制の強化を図るため、障害児通所支援事業所等を対象として、専門の講師を招へいし、障害児や家庭支援の課題に対する対応や、関係機関の連携強化などの講演を実施。</li> <li>○子ども福祉機器展 福祉機器メーカー等の協力のもと、幼児からおおむね小学校高学年までの障害児の座位保持装置、バギー、車椅子、クッション、コミュニケーション機器等について、実際に触れてリハビリ専門職と一緒に試乗・相談ができる福祉機器展を開催する。</li> </ul>
職員の質の向上	障害のある子どもに対して療育・支援を提供するため、職員の資質、知識、技術の向上を図る。	発達支援講習、摂食研修、感染症対策研修、虐待防止研修、人権研修、食物アレルギーとエピペン研修、医療的ケア児等コーディネーター養成研修等

主な行事	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	その他
	始業日・入所式	夏のお楽しみ会 プール遊び プール療育（なのはな）	あそぼう会（運動会） 園外保育（遠足）	季節の行事 卒退園式	○体験活動 ・動物とのふれあい（移動動物園）／年1回 ・音楽とのふれあい（ミュージックシェアリング）／年6回